

## 2月のアーティスト



## みんな

## の広場

植松 成 くん  
ふたば認定こども園双葉幼稚園 6歳



冬休みに家族でスケートに行き楽しかった！  
氷の上を滑ると白い粉が出るから、白い絵の具  
を付けた歯ブラシを指ではじいて表現したよ。

## この人に聞く Spotlight

No.235

「盆栽は写し鏡」震災を乗り越え、再び輝いた日本一  
大町 功 さん



盆栽作家の大町功さん（52歳・写真左）は、第51回日本盆栽作風展で、最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。19年ぶりの栄冠であり、東日本大震災で全てを失いながらも、父の祐吉さん（83歳・右）と共に歩み続けてきた日々が形になりました。

山田町で親子で営んでいた盆栽園は震災で被災しました。震災当時、長年育ててきた数々の盆栽を抱えて無我夢中で逃げるも途中で手放さざるを得ず、「想定を超えた津波で、ただ必死だった」と語ります。それでも国内外の仲間や顧客から寄せられた支援や励ましで再起の力となり、北上市でゼロからの再出発を決

意しました。

今回受賞した「真柏」は、約10年前に譲り受けた木を、祐吉さんが描いた完成予想図を基に功さんが育て上げたもの。力強い幹のねじれと堂々とした立ち姿の、親子で向き合ってきた歳月を物語り、迫力を感じさせます。

盆栽作家として歩み始めた頃は、初日から盆栽に触らせてもらえ、ゆるやかな環境に恵まれた一方、3年ほど経つと盆栽作家を続けてよいか、迷いが生まれました。そんな時に支えてくれたのは祐吉さんの存在でした。

「二つを極める姿勢を見てきた。努力しなければ極められない」と、父の背中を追い続けてきました。

盆栽は「写し鏡。接した分だけ返ってくる」と語り、毎日欠かさず観察し、愛情を注ぐことを大切にしています。

「愛情をもっと育てれば、その分よく育つ。愛情を注がないと、枯れてしまう」と真摯に向き合っています。

今後は、祐吉さんと共に後世に残る作品づくりに挑むとともに、若い世代にも盆栽の魅力を伝え、普及に力を注いでいきたいと先を見据えています。

No.299

## みんなの詩歌



桜木や風の旅人空へ舞う

太田 愛海

青春に終わりを告げた笛の音

工藤 光士郎

ゆれ動くさくらの色と水面上

佐々木 千尋

部活パテ照らすや二人おぼろ月

佐々木 瑠志

北上中学校三年

※掲載作品は日本現代詩歌文学館内に展示しています。

## おらほの愛どる



藤田 倅輝 くん  
令和7年4月25日生まれ  
(和賀町長沼)

お姉ちゃん大好きなこうきくん！いっぱい食べて笑って元気成長してくれてありがとう♡



高橋 麗壘 ちゃん  
令和6年12月25日生まれ  
(里分)

お話が大好き♡これからたくさんお話しようね！生まれてきてくれてありがとう！



申し込みフォーム

## どんなクラス？

- 仲が良く助け合える（心桜、星華、橙哉、結翔）
- 掃除の班長を頑張っている（珠蓮）
- 鬼剣舞やスキの練習をしている（友愛、晏慈）
- 委員会を頑張っている（朱那）
- 学校のリーダーの役割を引き継いでいる（愛理彩）
- 鬼ごっこをして遊ぶ（遙飛、健聖）

## 担任 児玉先生からのメッセージ

少ない人数ですが、何事にも全力で取り組む元気で明るい5年生。いつもみんなから元気をもらっています。仲間と協力し合い、みんなでいっしょをリードしていきましょう。

## 2月のクラス いわさき小学校 5年

